

説教 「讚美の声を高らかに」

《主よ、今こそあなたは、お言葉とお祈り、この僕を安らかに去らせてください。わたしはこの目であなたの救いを見たからです。これは万民のために整えてくださった救いで、異邦人を照らす光、あなたの民イスラエルの誉れです》
ルカによる福音書2章9節、32節

数年前の式文の学びの際、講師の方が「式文を用いる礼拝だと、毎回毎回同じことの繰り返しになるかもしれません。しかし、二つとして同じ礼拝はありません。なぜなら、その時、その空間、その礼拝に集められた一人ひとりと、そこで働く神さまの聖霊はそこだけのものだからです。つまりライブです。派遣の部で私たちは、シメオンの賛歌を共に歌い、またそれぞれの日常に神さまから遣わされてゆきます。もしかしら、この礼拝が最後になる方もおられるかもしれません。ですから、この賛歌



を共に歌うとき、俯いていたり悲しい顔をしているよりも、幼子イエスを胸に抱いて喜びに溢れていたシメオンのように、顔を上げて、喜びを生きた生きた表すように歌うとよいのではないでしょうか・・・。」と、言われていたことを思い出します。それで以降、司式者として立たせていただく際には、可能な限り向かい合っている会衆すべての人の顔をみるようにしています。そして、待ち望んでいたメシアを胸に抱いて喜びに満たされているシメオンの気持ちに思いを馳せ、私の魂も喜び祝い、暗い顔ではなく喜び

に満ちた顔でいられるようにと祈りながら・・・。けれども時には心が沈む時、落ち着かないこともあり。それでも顔をあげ、会衆と一体となつて神さまを讚美するとき、不思議と深い慰めと力を得るようになっていきます。神さまが、小さな乳飲み子として救い主をお与えになつた理由は、子どもが持つている無邪気さや天真爛漫さ、沢山の可能性を秘めた未来への希望がある、というだけではありません。小さな赤ん坊という姿は、誰かの力を借りなければ決して命をつなぐことのできない無力そのもの。主はいつもおられるにも関わらず、自らの力を行使することをお任せして、人間の手にその身を委ねられました。それは、この腕にかかる重み、ぬくもりを通して私たちが、今この腕の中に納まるほどに小さくなられた神さまの愛の重み、恵みの温もりを知るため



うのであれば、なぜこのようなことが起こるのかかというように、怒りや不安、疑いの声の方が多く喜んで受け入れられるどころか、怪しまれ拒絶されそうな心配すらあります。そのようなところに、「私たちの救い主は確かに「おられる」と証し続けることは、簡単なことではありません。」

幼子を抱き神さまの約束が果たされたことを実感すると、シメオンはもうこの世に思い残すことはないと言います。神さまの約束に希望を持って待ち続けていた万感の思いが魂からあふれ出ているのです。また、アンナも同じく、幼子イエスと出会えた喜びに包まれて、神への賛美をささげた後、エルサレムの人々にこの嬉しい知らせを告げました。救い主と出会えた人々は、その喜びを自分の中だけでとどめておくことができなかったのです。

にはかなりません。

では、私たちはどうでしょう？ 福音を伝える喜びや感謝にあふれているでしょうか。見渡してみれば、私たちが生かされている現実には嘆きや呻きの耐えない社会。希望が見え辛く、不条理なことや悲しい出来事が絶えないと思えるような日々の積み重ねのように感じられます。耳に聞こえてくるのは、「神がいるとい

うのであれば、なぜこのようなことが起こるのかかというように、怒りや不安、疑いの声の方が多く喜んで受け入れられるどころか、怪しまれ拒絶されそうな心配すらあります。そのようなところに、「私たちの救い主は確かに「おられる」と証し続けることは、簡単なことではありません。」しかし、一週間の営みを終え、それぞれの場所から礼拝に集められる私たちは、まず共に罪の告白を行うように促され救いを与えられます。そして、御言葉と聖餐の恵みによって福音を分かち合います。新たな力を注がれます。派遣の部にあるシメオンの賛歌は、再びそれぞれの生活の場へと散らされてゆく私たちに、「あなたは喜びに満たされた者である」ということを示してくれているように思います。

今年二月二十二日から四旬節が始まる。これはキリストの復活日に遡る四十日間を意味するが、昔から主の受難を覚え、肉食を断つて精進潔斎をする時とされていた。しかし、その前に徹底的に馬鹿騒ぎをするのがカーニバル(謝肉祭)だ。どうも、人間は聖俗のパラノシアの上に生きる存在なのかも知れない。ルターは、世俗世界の中で聖なるものを見出した(例えば世俗職業も神の召命である等)し、ドイツで同時代出版された大評判の民衆物語『ティル・オイレンシュピーゲル』では、道化者のティルがその冒険を通して聖世界における痴愚的部分を爆発させている。ティルの埋葬の際、手違いで棺が垂直に墓穴に落ちた時、人々は「反骨の奴のことだ。死んでも立っていたいのだろう」と「オイレンシュピーゲル、ここに立つて眠る」ではない」と墓碑に刻んだと言われる。ヴォルムス国会の審問で棄教を迫られた時、「我ここに立つ」と言ったルターの気概にも通ずるだろう。コンピュータに革命を起こしたS・ジョブズが「Ray Jozsh(愚かであり続けよ)」と言って亡くなった。私達にもこの痴愚礼賛の情熱が不可欠なのではあるまいか。

痴愚礼賛

ルターによせて(10)

第19回 春の全国Teensキャンプ
いのちってだれのもの?
The Eternal Question
2012年3月27日~29日
国立曾爾青少年自然の家
詳しくは4面で

2012年度
日本福音ルーテル教会
教職授任按手式
日時 二〇一二年三月四日(日)午後七時
場所 日本福音ルーテル教会 宣教師百年記念東京会堂
受授者
竹田大地氏(司) 佐々木希聖(祝)
乾和雄氏(司) 神谷教(祝)

信徒の声

共に祈ること

大江教会 ^{たにぐち} 谷口 ^{あい} 愛

突然ですが、『エキユメニズム』という言葉をお聞きした。私は恥ずかしながら、昨年神学に興味を持ち始めるまであまり耳にしたことのない言葉でした。

エキユメニズムとは、キリスト教徒が多数の教派に分かれるなか、同じ主のうちに一つになるという教会一致の運動ですが、今日まで二十数年をルーテル教会で過ごしてきた私にとって、教会や礼拝のイメージとはまさにルーテル以外のなものでもありませんでした。しかし昨年八月、エキユメニカルに触れる機

会が与えられ貴重な体験をしてきたので、ぜひ皆さんにご紹介したいと思っています。

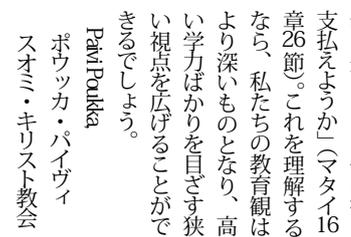
まだ暑い夏のはじめに、大きなバックパックに最低限の荷物を持って私は人生初の22日間巡礼の旅に参加してきました。この旅は、上智大学神学部の先生が主催して下さったもので、フランスとスペインでの様々な聖堂訪問や宗教イベントがスケジュールに組み込まれている盛り沢山な内容でした。時系列で行き先を挙げていくと、まずフランスのパリ、テゼ、ヴ



ナスカ、ルルドを廻り、続いてスペインのマドリッド、アヴィラ、セゴヴィヤをそれぞれ数日間ずつ滞在しながら廻って行きま



晩のテゼの祈りと音楽に触れ、ヴナスクではノートルダム・ド・ヴィ修道会が主催するインターナショナルキャンプに参加し、そしてマドリッドではワールドユースデー(通称WYD)というローマカトリック教会主催の全世界カトリック青年が集う大会に日本巡礼団として参加してきました。このWYDは、全世界から毎回二百万人近くの青



年とローマ教皇が一つの場所に集い出逢い、共に祈りの時間を持つことで、各々に生きる意味を探し求め改めてキリストに根ざして生きる信仰を見つめ直すことが出来る3年に一度のビッグイベントです。

様々な体験を一度に味わった旅でしたが、今回周囲が皆カトリック教徒である中、プロテスタント信者として参加できたことに一番意味があったと今振り返って思います。旅の仲間と教派を超えて分かち合い、ルーテル教会についても新たに知ってもらえることが出来

牧師の声

私の愛唱聖句

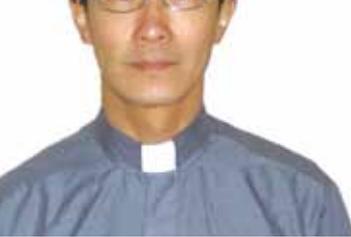
三鷹教会 ^り 李 ^{あきお} 明生

「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」
(ヨハネによる福音書 一五章二節)

二十数年前、進学のために田舎から東京に出てきた私は、西早稲田にある早稲田奉仕園・友愛学舎というキリスト教主義の学生寮で大学生活を始めることとなった。格安の寮費がこの学生寮の魅力であったが、実はその寮生活の核心は単に経済的なものではなかった。この友愛学舎での生活を起点にして与えられ

た多くの出会いがなければ、私が牧師の道を進むことはおよそあり得無かつたと言っても過言ではない。

とりわけ寝食を共にした友人達との出会いは、何かを誰かと分かち合うことの喜びを私に教えてくれた。誰かと共に生きるその喜びを体験する時に、かつての自分であれば決して良いとは思えなかったもの、避けたくなかったもの、避けられなかったもの、新たな魅力と良さを知ることが出来るということ、この寮での生活を通して私は知った。



主イエスが弟子たちを友と呼べたヨハネによる福音書一五章一三節は、この友愛学舎の「舎章」であり、私の寮生活のいわば背骨となった聖句であった。人が自分のためだけに生きる時、どれほど物質的に豊かとなり、自分の好むものばかりで自分の周りを埋め尽くしたとしても、私たちの魂が真に満たされることはない。それは全てやがては古び消え去るものでしかないからである。

しかし逆に、自分ではない誰かのために自らの時間や労力、その他持てるものを用いていく時、友との出会いは、自分の知っている世界に止まらせるのではなく、その出会いを通して、未知の新しい世界に自分が開かれていくこと、またその出会いを通して自分

誰かのためにそれが失われることを厭わない時にこそ、私たちの思いを超えた恵みは与えられ、新しい世界が開かれるということ、私はこの聖句から示されたのだった。

が変えられることがどれほど楽しいことなのかということを、私は寮生活を通して体験したのだった。それは、まさに私にとって黄金の一滴と言わなければならない。私が牧師を志した実質的な出発点であった。



学力だけでいいか

教育に大切で必要なこととは何でしょうか。「学力」でいいのでしょうか。

第二次世界大戦の後、子供たちの生活はずいぶん変わってきました。日本やフィンランドのような先進国は、経済発展に従って物質的な豊かさは今まで見たことのないほど増加しました。学校教育の水準もどんどん伸びてきて、両国はPISAという国際的な学力調査によると「学力」の高い国になりました。では、このような良い状態さえあれば、子供たちは幸せだと思ってしまうが、現実には様々な問題が増えています。例えば、フィンランドの学校にもいじめがあ

りますし、ストレスや精神的なことによる問題も珍しいものではありません。アルコールや麻薬を使う青年たちの数も増えていきます。また日本では、いじめ、不登校や引きこもり、万引きや引ったくり、暴力などという生徒の問題もあるようです。

日本福音ルーテル教会の社会福祉施設の紹介 その21

社会福祉法人「るてるホーム」

常務理事 石倉智史

創立五十周年に向かつて

今から十年ほど前、築

三十数年を経過した軽費老人ホームの建替えの検討を当時の理事会は精力的に検討してまいりました。土地の取得に奔走していたことや、現地建て替えの検討などの資料も多数残されていたことから、先人たちももうてるホームの未来を語り、たゆまない努力を続けてくれていたことがわかります。行政など関係者からの期待も大きく、なんとか実現を目指してはいました。が、結果としては見送ら



完成予想図

しかしながら財務的にも潤沢ではない社会福祉法人が、土地を購入して事業を移転するという行為は、少なくとも大阪府内でも希なことでもあり、冒険的と捉えられたのか行政からの支持は簡単に得られませんでした。また地主の方との交渉も補助金を受けず事業をすることが理解がなかなか得られず、商談が破

れませんでした。また地主の方との交渉も補助金を受けず事業をすることが理解がなかなか得られず、商談が破

れませんでした。また地主の方との交渉も補助金を受けず事業をすることが理解がなかなか得られず、商談が破

れませんでした。また地主の方との交渉も補助金を受けず事業をすることが理解がなかなか得られず、商談が破

れませんでした。また地主の方との交渉も補助金を受けず事業をすることが理解がなかなか得られず、商談が破

れませんでした。また地主の方との交渉も補助金を受けず事業をすることが理解がなかなか得られず、商談が破

れませんでした。また地主の方との交渉も補助金を受けず事業をすることが理解がなかなか得られず、商談が破

れませんでした。また地主の方との交渉も補助金を受けず事業をすることが理解がなかなか得られず、商談が破

ざるを得ない状況になってしまったことは残念なことでした。その思いを託された私

たちは今から三年前、法人経営の立て直しを中心

に中長期計画を策定し、

次に五十周年という使用命を引き継いだ証として、創立五十周年(二〇一五年)までに「別地での全面移転を行う」という計画を盛り込みました。新たに土地を購入して建て替えるという決意ができたのは、まさに先人たちの試行錯誤があったからこそといえるでしょう。

新しい建物は地上5階建てで、法人のすべての事業を一体的に行う計画です。特に軽費老人ホームにつきましましては、礼拝のあるケアハウスとして事業開始時の女性の会の方々の思いを引き継ぐことができないようなものにしたと考えています。制度的には全国どこからでも利用が可能な施設です。ご協力をお願いすると共に、信仰の仕上げをする場所としても念頭において頂きますと幸いです。どうか、より一層のお祈りとお支えをお願いいたします。

社会福祉法人るてるホーム 〒575-0003 四条畷市岡山東5-5-55 TEL 072-878-9371 FAX 072-878-5293

平行して行政にも何ども何度も足を運び、私たちの計画を理解していただき、昨秋から正式に協議をはじめてもらっています。こうして紆余曲折がありましたが、移転計画を実施へと移すことができましたとしてくださる方に心から感謝したいと思います。

新しい建物

綻じそうにもなりましたが、多くの方々の支援と協力を得て粘り強く二年間の交渉を続け、昨年暮れにようやく土地を購入することができました。

私の本棚から 渡会圭子 著 『フラインマンの手紙』 ソフトバンク・クリエイティブ 2006年



一九六五年にノーベル物理学賞を受賞したリチャード・ファイリッ

フラインマンは家族や友人、熱心なファンや学生、研究仲間、研究の先輩や後輩に多くの手紙を書きました。他者への心向けの深さや研究への

ひたむきさが手紙から読み取れます。全く面識のない人例えば、息子の子育てに悩む父親や将来を逡巡する学生から手紙に対して心を入れ込めた返事を書いてい

ます。

彼の手紙に惹きこまれる理由は、読ませる日本語にした翻訳者の文章にもあると思います。物理学や数学などの

返事を出しています。書簡集を編むに際してフラインマンの親族に、既に結婚を患っていたアーリーンは、結婚の後二年で亡くなります。フラインマン亡き後何度も読み返したであろう擦り切れた状態で出てきた、妻の死から一年四ヶ月後に亡き妻に宛てて書いた唯一投函され

た手紙を含め、愛情があり、心の表情の豊かさが伝わる内容にあるのだと思います。研究への批判が書かれた手紙に対しても気付きを与えてくれたことに感謝する

返事を出しています。書簡集を編むに際してフラインマンの親族に、既に結婚を患っていたアーリーンは、結婚の後二年で亡くなります。フラインマン亡き後何度も読み返したであろう擦り切れた状態で出てきた、妻の死から一年四ヶ月後に亡き妻に宛てて書いた唯一投函され

た手紙を含め、愛情があり、心の表情の豊かさが伝わる内容にあるのだと思います。研究への批判が書かれた手紙に対しても気付きを与えてくれたことに感謝する

返事を出しています。



私が教会学校で「聖書のおはなし」を担当することになったのは、教会に隣接する「めばえ幼稚園」の教師として教会学校スタッフに加わったことに始まります。

教会学校に参加している子どもたちは、幼稚園の三歳児から小学校六年生までと年齢差もあり、卒園児が多く参加しています。また、幼稚園でも

「聖書のおはなし」をするには、幼稚園も教会学校でも大切にすることは同じであると思います。そして、教会で作成したテキストは、聖書のおはなしのポイントをわかりやすく解

説していますので、参考になります。いつも大切にしていることは、聖書の箇所を自分に対するメッセージとして読むことであり、子どもたちにも神さまは、どんな時にも共にいてくださり、支えてくださることを信じて歩んでいくことを心より祈っています。

徳野昌博



第90回全国高校サッカー選手権大会 ルーテル学院高、惜しくも初陣敗退!

昨年末に開幕した第90回全国高校サッカー選手権大会に、熊本県の代表として、ルーテル学院高校が出場。

1回戦は12月31日(土)、快晴、寒空の下、

徳野昌博

春の全国ティーンズキャンプ

参加者募集!

今年も春の全国ティーンズキャンプ(略して春キャン!)申し込みの季節がやってきました。

2011年3月の春キャンは、過去20年間の中ではじめて実行することができませんでした。東日本で起きた大震災のために、本当にたくさんのいのちが失われました。2012年春、私たちは、同じテーマであっても、新しい気持ちで「いのち」について考えたいと思います。

春キャンに来たことのない人たちも、春キャンに久しぶりに来る人たちも、そして春キャンを楽しみにしてくれている人たちも、みんな2012年3月は奈良に集合だっ!!

*なお、昨年春キャン卒業予定だった人も、今年キャンパーとして参加できます。

テーマ **いのちってだれのもの?—The Eternal Question—**
主題聖句 **命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。(マタイ7:14)**

日程: 2012年3月27日(火)~29日(木)

集合時間、解散時間は未定ですが、現地には各教区・地区ごとに行きたくまわって往復します。交通手段等については、各教区担当者からご連絡いたします。

会場: 国立曽爾青少年自然の家

〒633-1202 奈良県宇陀郡曽爾村太良路 1170

TEL 0745-96-2121 FAX 0745-96-2126

URL <http://soniniye.go.jp/index.html>

参加対象者: 2012年4月1日時点の年齢が12歳~19歳のみんな

参加費: 2月26日(日)までの申し込み 1万1千円(交通費は各自負担)

申し込み期限を過ぎてからの申し込み(要相談) 1万5千円(")

*申し込みのタイミングによって参加費が変動します。

*3月23日以降のキャンセルについては、参加費の半額を請求させていただきます。

*飛行機のチケット等の手配もありますので出来るだけお早目にお申し込み下さい。

申し込み期限: 2012年2月26日までに、下記申込先に郵便・FAXまたはE-Mailをお願いします。

申し込み先 郵便: 〒812-0053 福岡市東区箱崎 3-32-3

日本福音ルーテル箱崎教会気付 春キャン2011 申込受付担当: 和田憲明宛

FAX: (092)641-5480(箱崎教会) E-Mail: tng.apply@gmail.com

キャンプに関する一般的な問合せ:

TNG-Teens 部門 小澤実紀 携帯 TEL: 090-1098-2466

主催: 日本福音ルーテル教会宣教室 TNG 委員会 Teens 部門、各教区教育部、JELA



るうてる法人会連合 教会推薦理事研修会

「るうてる法人会連合」の研修プログラムの一環として、「第4回教会推薦理事研修会」が新春の1月9日(月・祭)午後2時から8時まで

市ヶ谷センターにて開催された。本教会の議長、副議長、事務局長、広報室長、学校法人及び社会福祉法人の教会推薦理事、それに幼保連の園長・牧師、総計約35名が「るうてる法人会連合」の新しい展開を目指してというテーマの下で、参集した。

最初に渡邊議長が教会の立場から「新しい10年にむけて教会推薦理事の意義」について発題した。宣教共同体である「るうてる法人会連合」設立から10年を経て、総会の開催、出版、研修プ

ログラム等の継続的な取り組みも含めて、それなりの成果を宣教共同体としてあげているが、それぞれの共通の使命である宣教(ミッショ)ン)そのものの再確認、新たな時代のキリスト教理念の構築、それに人材の育成及び教会推薦理事の意義の再定義等が今後の共通課題であると説明した。

この基調講演に対して、社会福祉協会、学校法人、幼稚園・保育園連合会の代表からリアクションとして、主以下の点から意見と要望が出された。

社会福祉協会代表・内海望氏は、職員にとつて「働きがいのある施設」となるためのキリスト教精神の意義とその運営のあり方を考えていくためにも教会推薦理事の存在の重要性があり、同時にその役割の課題が常に残されていることを指摘した。

学校法人代表・松澤員子氏は、キリスト教主義学校におけるクリスチャン教師の減少傾向が強まる状況の中で、クリスチャンコード(教職員がキリスト者であることを定めた内部規定)に基づく学長選任及び

最後の全体会では基調講演、リアクション、理事候補の選定がいろいろの大学等においても困難になっており、それは施設だけでなく、教会の働きも含めてキリスト者の人材養成・後継者養成の課題と深く関係しているとの意見が述べられた。

幼稚園・保育園連合会長・岩切雄太氏は、教会推薦理事は会計基準も含めた法人の業務内容の十分な理解・把握と職員の働きを全面的に受け止める姿勢が大切であるとの意見を述べられた。

最後の全体会では基調講演、リアクション、理事候補の選定がいろいろの大学等においても困難になっており、それは施設だけでなく、教会の働きも含めてキリスト者の人材養成・後継者養成の課題と深く関係しているとの意見が述べられた。

JLER報告

JLER東日本大震災救援活動への祈りとご支援に感謝します。新しい年がやってきました。被災地では「おめでと」という言葉が素直に言えない年を迎えました。仮設住宅での寒さは厳しく、復興への道のりも苦難を感じながら、少しずつ前に進んでいます。本言に厳しい冬となりました。

ルーテル教会救援では、昨年11月から石巻市北上・河北で仮設支援を始めまっています。伊藤文雄派遣牧師・西田ちゆき社会福祉士の2人で仮設住宅を訪問ははじめました。これまで教会からの「おすわけ」をはじめ、メッセージカード、雑巾等をお配りした仮設です。ルーテルさんの名前はよく知られていました。その関係があったからこそルーテル「お茶っこ会」は歓迎されました。今年になって、若手ボランティアスタッフが2名が加わりました。

現在、毎週2回ほど仮設住宅での「お茶っこ会」は行なわれています。簡単な体操にはじまり、テーマを決めての話からはじまります。ときには津波のことも話されます。天に送った家族の話になると、心の傷

活動の様子はブログ <http://autheran-onanichidlo.blogspot.com/> でまじゅうです。事務局長 立野泰博



事務局長 立野泰博